

企業立地

工業団地の整備について

吉野 修  
(黎明21)

**問** ●県の新企業立地方針

知事は、年頭に、圏央道の開通に伴い用地不足が指摘される企業立地について、圏央道以北地域で積極的に用地整備を進める考えを表明した。知事が表明した、約430ヘクタールの地域に、本市のエリアはカウントされているのか。

**答** 本市において、国道17号周辺や17号バイパス周辺、国道125号周辺や125号バイパス周辺が該当する。

**問** ●本市の工業団地の整備

本市において、新たな工業団地を整備するためには、大規模に農地転用をしなければ用地を確保できないのではないかと、農地の大規模な転用は本市単独では厳しいのではないかと。県レベルでの強力な施策の推進が必要だと考えるがどうか。

**答** 工業団地の造成は、県の協力が必要であることから、昨年9月に市長・議長・商工関係者の連名で知事に要望した。また、企業立地に係る土地利用の見直しや新たな基盤整備のため用地の掘り起こし作業を関係機関と調整している。

**問** ●自動車専用道路「新大宮上尾道路」の整備

近年では、高速道路インターチェンジ周辺が企業立地の条件となっており、鴻巣市箕田までの自動車専用道路は本市の悲願ではないか。

**答** この整備は、首都圏と地方を結ぶ大動脈として、本市のポテンシャルをより一層高めるものだ。これまでも国に要望してきたが、29年度から上尾道路建設促進期成同盟会に加入し、早期実現に向けて積極的に取り組む。

**問** ●その他の主な質問

○相続未登記の土地

○相続未登記の土地

動物愛護

殺処分ゼロを目指して

大河原 梅夫  
(公明党)

**問** 全国の保健所や動物愛護センター等に引き取られる犬や猫は一年間に約15万1千頭。引き取られた犬や猫の約7割はやむなく殺処分されている。殺処分ゼロに向けた最大のポイントは殺されてしまふ大切な命を産ませないことであり、地域猫活動が必要不可欠と考える。県でも殺処分ゼロを目指して取り組んでいるが本市はどの様に取り組むか。

**答** 犬や猫の殺処分をゼロにするためには、県と市が連携して動物愛護団体の活動を後押ししていく事が非常に重要である。地域猫活動の内容及び県の飼い主案内板など先進地の事例等を今後調査研究していく。

**問** ●小型家電リサイクルについて

東京オリンピック・パラリンピック組織委員会は、不要な携帯電話や

小型家電リサイクルにより抽出された金属を原材料として金・銀・銅メダルを作成する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の動向を注視しながら、ごみの分別の徹底など市民意識の向上に努めたい。

また、リサイクルを推進することにより、循環型社会への構築を進めていきたいと考えている。

現在、入学準備金を入学前に支給している自治体は80を超えている。本市は7月支給だが、事務手続きの見直しのみで実施できるものであり市民要望も強い。入学前支給にすべきではないか。



小型家電リサイクル

子どもの貧困

就学援助制度の入学準備金は入学前の支給を

大久保 忠  
(日本共産党)

**問** 子どもの貧困が社会問題となる中、就学援助制度の拡充が求められる。小中学校入学時に入学準備金が支給されているが文科省の調査では中学入学時に制服のみで5万円、カバン等含めると総額約10万円が必要であると考えられる。保護者の負担は非常に大きいと思うが、実際にこれだけかかっているという中で支給額は足りないという受けとめている。

**問** 現在、入学準備金を入学前に支給している自治体は80を超えている。本市は7月支給だが、事務手続きの見直しのみで実施できるものであり市民要望も強い。入学前支給にすべきではないか。

**答** 現在の要綱では支給できないが、見直しをしていけばいいので前向きに検討していきたい。

**問** 旧忍町信用組合店舗の

移築改修は中止見直しを計画は水城公園内に移築改修をするというものだが、議員にわずかな説明しかなく、市民には全く知らされていない。まして1億2千万円の血税をつぎ込むということもかかわらず市の説明責任は果たされず内容もカフエ、子育て支援、観光案内等具体性がなく総花的である。近くに類似施設があることなど市民の理解は得られない。中止し見直すべきではないか。

**答** かつての足袋産業等の繁栄の象徴として市指定文化財に指定し保存。人目のつきやすい水城公園東側に移築改修し回遊性の向上や交流人口の増加、街なか活性化を図るものである。

**問** 1億2千万円の税金投入は高いという認識は、高いと思うが文化財保存のため高くなった。